

足立区基本計画審議会（第3回 全体会）事前質問への回答

※ 事前質問書をご提出いただいた内容について、下記のとおり回答させていただきます。

	質問	回答内容
1	計画の理念に記されている区民に一人ひとりの「やってみたい」に併走し、後方から支援していくのモデル施設として審議会でも『あやセンターぐるぐる』があがっていたが、区民から利用しづらいという声がある。開設から今までの実績（開設からの月別利用者数、利用者内訳（業種など）、起業に至った数、事例）をお示しいただきたい。	あやセンターぐるぐるの利用実績等につきましては、別紙「あやセンターぐるぐるの利用実績等について」をご確認ください。
2	『ワケあり区、足立区』というコンセプトのプロモーションも区民と区外の方のイメージの乖離を埋めるためとネットの記事で拝見したが、「ちょっと言ってちゃいけないようなマイナスの事情と捉えられるワードをあえて使う」ことで従来のネガティブなイメージを逆手に取る意図についてご教示願いたい。	区民の皆様が認知している足立区の現状と、区外の方々が抱く足立区のマイナスイメージとのギャップを埋めるためには、区外の方々に今の足立区を知ってもらう必要があります。しかし、足立区の魅力をそのまま発信しても、日頃、足立区を意識していない区外の方の目にはとまりません。区外の方に情報を届けるには、メディアやSNSなどで話題をつくる必要があります。 そこで、根強く残る足立区のマイナスイメージを逆手に取ったコピーを軸に区外に向けた本格的なイメージアップのプロモーションを開始しました。「ワケあり」というワードをフックに、足立区の魅力や先進的な施策などのポジティブな「ワケ」を区外の方々に知ってもらうことがこのコピーの狙いです。ぜひ、足立区のポジティブな「ワケあり」の発信にご協力いただけると幸いです。